



成隣だより

平成29年 1月10日

第9号

昭島市立成隣小学校

校長 加賀田 真理

夢に向かっての一步を

校長 加賀田 真理

明けましておめでとうございます。

今年は、穏やかな陽気の新年の始まりとなりました。教職員一同、お子様のよりよい成長を支えることができるよう、今年も精一杯努力してまいります。引き続き、教育活動へのご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎えると気持ちが改まり、新たなことに挑戦していこうとする意欲が湧いてくるのは大人も子供も同じかと思えます。年頭に目標とする夢について考え、今年ががんばることの目標を立てる機会として生かすことは、ひとつの区切りとして意味があることだと考えています。ぜひ今の気持ちを大切に、子供たちには今年一年を有意義に過ごしてほしいと思います。

某保険会社が毎年発表している「大人になったらなりたいもの ベスト10」の今年の1位は男子がサッカー選手、女子は食べ物屋さんでした。かつては野球選手や学校の先生が優勢だった時代もありましたが、サッカー選手は7年連続、食べ物屋さんについては20年連続(!)で1位に輝いているそうです。(集計の数や方法等は不明)

ユーチューバー、ゲームクリエイターなど、私が子供のころにはなかった新たな職業も次々に生まれていますが、いつの時代も、未来の自分が活躍する姿を夢見て、前向きに努力をする子供たちの笑顔は輝いていることでしょう。一人一人の子供たちが自分の夢を大切にしてほしいと思います。

ある学校を参観した時に、次のような言葉が掲示されており、心に残りました。

「夢」のある人には	「希望」がある
「希望」のある人には	「目標」がある
「目標」のある人には	「計画」がある
「計画」のある人には	「行動」がある
「行動」のある人には	「結果」がある
「結果」のある人には	「反省」がある
「反省」のある人には	「進歩」がある
「進歩」のある人には	「夢」がある

夢は、具体的な行動を続けることでしか実現できません。また、世界で通用するサッカー選手になるためには、サッカーだけでなく英会話等の力も身に付けなければならないかもしれません。よい食べ物屋さんになるためには、食材の産地や流通のしくみを知ることが必要となることもあるでしょう。夢をもつことによって、自分の世界が広がっていきます。目の前にある日常的な学びを大切に、小さな小さな一步を確実に踏みしめながら、自分の夢に近づいてほしいと思います。

今年も、子供たちの夢を育み、一步ずつ進んでいく力を育てる教育活動に取り組んでまいります。子供たちへの励ましの言葉を、どうぞよろしくお願いいたします。